

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11298

文化財保護事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	文化財保護事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	洲崎 敬一郎 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市文化財保護条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市内所在の文化遺産を適切に保存整備し、継承、活用を行う。		文化財保護委員会を開催し、事業について指導を受ける。和歌山市指定文化財を指定する。文化財案内板の設置、文化財資料の貸出等を行い文化財の活用を図る。			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		文化財保護委員会の開催 文化財パンフレットの作成 資料の貸出及び案内板の設置 不老橋の保存修理 光恩寺庫裡の保存修理	文化財保護委員会の開催、文化財パンフレットの作成、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理 不老橋の保存修理 総持寺当麻曼荼羅の修理	文化財保護委員会の開催、文化財パンフレットの作成、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理	文化財保護委員会の開催、文化財パンフレットの作成、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理	文化財保護委員会の開催、文化財パンフレットの作成、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	11,165	10,812	20,567	25,660	14,032	15,021	14,454	0	14,454	0	
伸び率(%)	△31.2%	△37.6%	84.2%	137.3%	△31.8%	△41.5%	3%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	9,811	6,700	12,548	9,911	15,142	9,424	10,551	0	10,551	0
	正規職員以外	0	0	2,134	1,643	761	1,911	2,299	0	2,299	0
	小計	9,811	6,700	14,682	11,554	15,903	11,335	12,850	0	12,850	0
国庫支出金	2,994	2,994	7,134	6,108	3,173	2,957	823	0	823	0	
県支出金	149	149	356	305	122	114	4	0	4	0	
市債	0	0	0	0	0	0	5,000	0	5,000	0	
その他	19	19	19	19	19	19	19	0	19	0	
一般財源(税等)	8,003	7,650	13,058	19,228	10,718	11,931	8,608	0	8,608	0	
所要人数(人)	正規職員	1.23	0.84	1.57	1.24	1.88	1.17	1.31	0.00	1.31	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.86	0.85	0.47	1.18	1.42	0.00	1.42	0.00
主な予算内訳	文化財保存修理業務委託料 3,923千円 印刷製本費 1,692千円 指定文化財解体修理事業補助金 1,126千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
委員会開催回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
埋蔵文化財維持補修件数		件	目標値	5	2	2	2	2
			実績値	3	3	1		
			達成度(%)	60%	150%	100%	%	%
指定文化財件数及び登録文化財累計件数		件	目標値	249	252	254	269	271
			実績値	258	265	265		
			達成度(%)	103.6%	105.2%	105%	%	%
資料貸出件数		件	目標値					
			実績値	6	11	15		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市内各所に点在している文化財を周知してもらうことにより、市民の郷土に対する愛護意識の醸成を図っていかねばならない。
見直し・改善内容	指定文化財について、各分野の候補を文化財保護委員の指導のもと事務局で把握し、計画的に指定していくこととした。